

第2期高鍋町まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和5年度実績 効果検証

令和6年10月
高 鍋 町

【基本戦略（施策の柱）】

1 しごとをつくる働くことへの希望を実現させる【しごとの創出】

男女を問わずあらゆる年代が働き続けることができ、また、高鍋町の経済・産業のさらなる発展のために創業を支援するなど、しごとの場を増やします。さらに、働く機会の充実を図り、働きたいと考えている人が安心して働けるようになるなど、働くことへの希望を実現させます。

指標名	①15歳以上人口一人当たりの所得金額 (公的年金など不労所得(働かずに得る所得)を除く)					【税務課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値(基準値)	※下段は達成率					目標値
1,145千円	1,174千円	1,259千円	1,277千円	1,279千円		1,331千円
	88.20%	94.59%	95.94%	96.09%		B
要因・原因・対策等	要因分析困難					

指標名	②15歳以上人口に占める就業者の割合					【税務課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値(基準値)	※下段は達成率					目標値
63.23%	68.45%	64.46%	68.63%	64.76%		68.03%
	100.62%	94.75%	100.88%	95.19%		B
要因・原因・対策等	要因分析困難					

(1) 働く場の創出

[基本方向]

しごとをつくるために、しごとを起こしたいという人を支援するとともに、町内への立地企業を増やします。また、地域経済力を高め、雇用の受け皿を増やすための取組を進めます。

[具体的な施策]

①新規就農希望者に対する支援

新規就農希望者に対し、農地のあっせんや農業技術の習得機会の提供、農業経営のための制度資金の活用支援などを行い、農業経営体の増加を目指します。また、有機農法への取組を支援します。

主な施策・事業	主な取組実績(担当課)
農業次世代人材投資事業 新規就農者育成総合対策事業 農業後継者親元就農支援事業 新規就農者支援事業	・就農直後の経営確立を支援する資金を交付 5経営体(以下 農業政策課) ・就農初期に係る運転資金、基盤整備費及び生活費等に活用できる使途を限定しない補助金を交付 1人 ・農業用機械・農業用施設の取得に係る経費を助成 4人

②6次産業化の推進

単なる農産物の生産だけではなく、加工や流通、販売までを担う6次産業化に取り組む事業者の創出を支援します。

主な施策・事業	主な取組実績(担当課)
該当事業無し	実績無し

③創業希望者に対する支援

女性や若者、移住者がスムーズに創業することができる体制を整え、町内における創業の活性化を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績(担当課)
創業支援事業	・町内で新たに創業(第2創業含む)しようとする者に対し、創業に際して必要となる経費に対する補助金を交付 3事業者(地域政策課)

④空き店舗対策の推進

空き店舗対策の見直しを進めるなど店舗の有効活用を図るとともに、創業希望者が創業しやすい環境を整えます。

主な施策・事業	主な取組実績(担当課)
高鍋町空き店舗等活用賑わい創出支援事業	・空き店舗等を活用して事業を営む者に対して補助金を交付 実績なし(地域政策課)

⑤企業誘致の推進

奨励措置の対象及び内容を立地企業にとって魅力あるものに見直します。また、女性の就職・転職希望の多い商業及びサービス業（スーパー・医療系・IT等含む）を中心とした、新たな企業の誘致を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
企業立地奨励条例に基づく奨励措置	<ul style="list-style-type: none"> 雇用促進奨励金 実績なし（以下 地域政策課） 通信回線使用料補助金 実績なし 新規立地企業に対する審議会の開催 1件

重要業績評価指標（KPI）

指標名	③新規就農者数（親元就農含む。） （令和2～6年度までの累計）					【農業政策課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
3人	0人	6人	8人	12人		12人
	0.00%	50.00%	66.67%	100.00%		B
要因・原因・ 対策等	補助事業等の優遇措置の周知がなされていることから、新規就農者数が伸びていると思われる。					
指標名	④空き店舗対策事業の活用件数 （令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
—	6件	6件	8件	10件		10件
	60.00%	60.00%	80.00%	100.00%		B
要因・原因・ 対策等	空き店舗等活用賑わい創出支援事業補助金の活用実績はなかったが、創業支援事業補助金の活用により空き店舗の解消が図られた。					
指標名	⑤立地企業件数（令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
3件	0件	0件	0件	0件		5件
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%		C
要因・原因・ 対策等	新規立地企業はなかったが、補助金など優遇措置の周知を強化し、新規企業の誘致獲得に務める。					
指標名	⑥商業及びサービス業の立地企業件数 （令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
—	0件	0件	0件	0件		3件
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%		C
要因・原因・ 対策等	企業立地はなかったが、今後も継続して立地に向けた協議を行っていく。					
町による 一次評価	4段階評価：	2 地方創生に相当程度効果があった				
	<p>企業立地件数こそ伸び悩んでいるものの、他は目標に向け順調に推移している。新規就農者数は順調に伸びている一方で、原油高、飼料・資材高等、農業者には厳しい状況は続いており、就農時・創業時の支援についてはデジタル化も含め制度の拡充が今後必要になってくると考えられる。</p> <p>商工業者支援については、事業者支援、消費喚起に加え、空き店舗の利活用や創業支援の充実を図るとともに、町内事業所の工場新設など町内事業者の支援も継続する必要がある。</p>					
委員会による 二次評価 （コメント）	評価：	2. 20 地方創生に相当程度効果があった				
	<p>新規就農者数、空き店舗対策事業は目標達成しており評価できる。新規就農者数については親元就農を含めて目標を安定的に数年達成しているが、今後も就農前研修から就農開始までの一貫した支援は必要である。また、高鍋町内外の方が高鍋町内の企業で働きたいと思えるような労働市場を作ることが必要と考える。</p> <p>事業継続率については、別項目としてKPIを計る方が、どんな戦略が有効かを考慮しやすいと思うし、新規就農者を増やすこと及び継続の施策は変わってくるのではないだろうか。</p> <p>創業支援事業補助金を活用して空き店舗の解消が図られているが、是非継続して取り組んでいただきたい。年によって創業の数には波があるが、相談者から何か支援制度がないかとの問い合わせがあった場合のアナウンスのためにも是非事業を継続していただきたい。</p> <p>立地企業の件数については立地される企業側の判断に委ねられるところが大きいので、なかなか思った通りの件数は上がってこないと思うが、立地に関するやり取りの中で、結果として立地に至らなかったとしても、町が良い対応をすることで評判に繋がり将来的な誘致に寄与すると思う。</p>					

(2) しごとを育む・働く機会の創出

[基本方向]

既存のしごとを育成支援することにより、経済・産業の強化を図ります。また、しごとに就きたい人の希望を実現させるために必要な支援を進めます。

[具体的な施策]

①農産物の生産性向上・農業経営の安定化

認定農業者（自らの農業経営を計画的に改善するための計画書を作成し、その認定を受けた農業者。認定を受けると様々な支援が受けられる。）の認定数を維持し、町内農家の農産物の生産性向上、農業経営の安定化を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
農業経営改善等対策会議の開催	・農業経営改善計画の認定 17件（以下 農業政策課） ・青年等就農計画の認定 1件

②農産物の高付加価値化

高鍋町で生産される農産物について、有機農法や特別栽培による付加価値を付け、さらなる需要を確保します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
有機農法実証助成	・有機農法実証に係る助成 107a（農業政策課）

③農業後継者の育成

それぞれが職業を選択する自由を有することを基本としながら、代々農業経営に携わっている世帯が、後継者不足により廃業に追い込まれることのないよう、町全体の農業経営の価値を高め、農業に魅力を感じてもらえる取組を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
農業後継者親元就農支援事業（再掲）	・就農初期に係る運転資金、基盤整備費及び生活費等に活用できる使途を限定しない補助金を交付 1人（農業政策課）

④創業者に対する経営支援

高鍋商工会議所と連携しながら、各種セミナーの開催、融資制度の利用促進などを図り、創業者の安定的経営のための支援を行います。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
中小企業相談所事業補助 中小企業特別融資制度等信用保証料補助事業	・高鍋商工会議所（中小企業相談所）が実施する中小企業相談支援事業に対して補助金を交付（以下 地域政策課） ・町内事業者が町要綱に基づく融資制度を活用し運転資金、設備投資に対する融資を受けた際の信用保証料を補助 33事業者

⑤求人・求職のマッチング

従来の職業紹介だけではなく、インターネットによる求人マッチングを強化し、若者の雇用促進や町内企業の人材確保に努めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町に特化した求人サイト「みちはた」の運営	・高鍋町の企業に絞った求人情報の掲載、年間を通じた事業所への交渉、インディードなどウェブサイトにおける求人サイトのPR（地域政策課）

⑥事業承継の支援

後継者不足により廃業に追い込まれることのないよう、事業承継への支援を強化します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
第三者承継等支援事業	・第三者承継に取り組む事業者に対し、第三者承継に必要な経費に対する補助金を交付 実績なし（地域政策課）

重要業績評価指標（KPI）

指標名	⑦認定農業経営体数					【農業政策課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
	※下段は達成率					
139経営体	141経営体	146経営体	147経営体	150経営体		140経営体
	100.71%	104.29%	105.00%	107.14%		B
要因・原因・ 対策等	認定農業者へは補助事業等の優遇措置があることから、達成できていると思われる。					
指標名	⑧農業所得総額					【税務課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
548,929千円	319,537千円	361,726千円	332,380千円	261,859千円		550,000千円
	58.10%	65.77%	60.43%	47.61%		E
要因・原因・ 対策等	要因分析困難					
指標名	⑨GAP認証数（令和2～6年度までの累計）					【農業政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
0件	0件	5件	5件	5件		6件
	0.00%	83.33%	83.33%	83.33%		B
要因・原因・ 対策等	認証のハードルが高いため。認証についての周知を強化し、新規認証者の獲得に努める。					
指標名	新規就農者数（親元就農含む。） 【再掲】（令和2～6年度までの累計）					【農業政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
3人	0人	6人	8人	12人		12人
	0.00%	50.00%	66.67%	100.00%		
要因・原因・ 対策等	補助事業等の優遇措置の周知がなされていることから、新規就農者数が伸びていると思われる。					
指標名	⑩求人サイトの新規求人掲載件数 （令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
—	45件	84件	98件	118件		120件
	37.50%	70.00%	81.67%	98.33%		B
要因・原因・ 対策等	地域おこし協力隊員不在の対応として、新たに会計年度任用職員を担当として採用した。事業所への掲載交渉を再開し、掲載件数は前年度よりも6件増となりやや復調の兆しがみられた。					
指標名	⑪求人・求職のマッチング数 （令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
—	12件	28件	40件	48件		58件
	20.69%	48.28%	68.97%	82.76%		B
要因・原因・ 対策等	コロナ禍の反動もあり企業の採用意欲が高まったことに加え、広告配信や応募者へのフォローが実を結んだと考えられる。また、HPが稼働して5年目となり、利用者への安心感に繋がっていることも要因の一つと考えられる。					
指標名	⑫事業承継の支援件数 （令和2～6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
—	1件	1件	2件	2件		5件
	20.00%	20.00%	40.00%	40.00%		C
要因・原因・ 対策等	事業承継による新規創業に対する支援及び、第三者等承継に必要な経費に対する補助制度の活用実績はなかった。					

町による 一次評価	4段階評価：	2 地方創生に相当程度効果があった	
	<p>新規就農者・認定農業者の育成は順調であるが、原油高等経費の増加がマイナスの要因となっているため、消費喚起等の施策だけでなく、デジタル化推進等の支援もより一層重要と考える。</p> <p>町独自の求人サイトによるマッチング数についても順調に伸びているが、より安定的な運営体制を構築し、求職者のニーズにマッチした新たな企業の掘り起こしに努めるなど、今後増加が見込まれる求人需要に対応したい。</p>		
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：	2. 30 地方創生に相当程度効果があった	
	<p>農業所得総額については、分析を引き続き行うことが必要かと思う。</p> <p>認定農業者数は目標値を達成しているが、農業所得総額の低下について、資材価格の高騰などが要因と思われることから、スマート技術の推進等による低コスト化が必要である。GAP認証については、制度の普及啓発と認証に向けた国の補助事業活用等の支援が必要である。</p> <p>事業承継については2025年問題があり、件数は今後増加すると思われる。</p> <p>求人・求職のマッチングが難しい時代に、宮崎市とはまた異なるくらしの価値・報酬形態などもある背景を考えると、⑩求人・求職のマッチング数はAでも良いと思う。採用に困っておられる事業所は多い。可能であれば応募件数に対するマッチング数の比率があると良い。</p>		
目標値の評価	A	目標達成。更なる地方創生に向け目標の再設定が必要	
	B	順調に推移。引き続き目標達成（または維持）を目指す	①②③④⑦⑨⑩⑪
	C	目標達成に向け更なる取り組みが必要	⑤⑥⑫
	D	目標達成が困難など目標の再設定が必要	
	E	現時点ではKPIの評価が困難	⑧

【基本戦略（施策の柱）】

2 まちの魅力を創造し、まちを知ってもらい、まちを訪れてもらう、まちを好きになってもらう、まちに住んでもらう、まちに住み続けてもらう【まちの創生】

高鍋町のよさを知ってもらい、一人でも多くの方に高鍋町を訪れてもらえるようにまちの魅力を磨きをかけ、県内外を問わず高鍋町を広くPRします。

また、高鍋町を訪れた方に高鍋町の魅力を滞在期間を問わず実感していただき、「このまちなら住んでもいい」と感じていただけるようなまちづくり、さらに、高鍋町に住んでいる人が、「高鍋町に住んでよかった」、「これからも高鍋町に住み続けたい」と思っていただけまちづくりを進めます。

指標名	⑬人口					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
20,250人	19,805人	19,542人	19,385人	19,097人		19,100人
年間125人減	99.03%	98.32%	98.15%	97.31%		D
要因・原因・対策等	自然増減が月平均マイナス18人以上、社会増減が月平均マイナス5人以上であり人口減に拍車がかかっている。特に出生数が100人を下回り99人となるなど（前年度比マイナス20人）、少子化の進行は危機的な状況であり、想定以上の減少数が続いている。					

指標名	⑭20歳代から40歳代の女性の社会増減 （転入数－転出数）					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
-33人	-12人	-41人	23人	11人		-5人
	75.00%	-28.57%	200.00%	157.14%		B
要因・原因・対策等	要因分析困難。誘致企業による採用受け入れが要因か分析が必要。					

（1）まちの魅力の創造

【基本方向】

観光資源をはじめとした地域資源や公共施設などの社会資本を整備するなど、まちの基盤を整え、まちの魅力を創造するとともに、住民の生活に直結した施策や住む人、訪れる人の需要に合致した施策を進めます。

【具体的な施策】

①「歴史と文教のまち」の名にふさわしいまちづくり

高鍋町の歴史や伝統を踏まえ、「歴史と文教のまち」として欠かせない資源の保全・活用を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
歴史シンポジウムの開催 「明倫堂の教え」普及啓発事業等	<ul style="list-style-type: none"> 歴史シンポジウムの開催（H29～R1、R4）（以下 社会教育課） 施策達成のソフト面の取り組みとして、藩校明倫堂の精神を今に活かす「明倫堂の教え」を作成し、全校配付及び町内中学校で学校教育への導入を図った。また、「たかなべ伝・伝Returns」発行や「八朔の誓い」の周知のためのカレンダーを作成した。

②「高鍋ブランド」の創出

高鍋町を代表する商品の開発や地域資源の発掘・充実などを進めながら、高鍋町の魅力を強化します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町新商品開発支援事業補助 ふるさと納税の推進	<ul style="list-style-type: none"> 実績無し（地域政策課） ギョーザのまち高鍋をアピールするなど高鍋ブランドの充実に努めた

③交流人口を増やすための取組の強化

スポーツ大会やイベントの開催、観光の振興等地域の特性を生かしながら、高鍋町を訪れる人（交流人口）の増加を図ることができる取組を強化します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町観光専用サイトの開設	<ul style="list-style-type: none"> 高鍋町観光専用サイトを開設し、町内観光スポットや観光イベント、町内事業者等の紹介など、高鍋町の魅力を積極的に発信した。（以下 地域政策課） 高鍋町公式Instagramにおいて、高鍋町の観光名所やイベント情報の投稿をリポストするなど、広く発信した。 第23回高鍋城灯籠まつりを1日で開催。高鍋町ふるさと応援大使GADOROさんによるステージイベントを実施するなどし、町内外より延べ3万人が来場した。 九州オルレ「宮崎・小丸川コース」においてフェアを開催。おもてなしポイントでは高鍋・木城各町の特産品を提供するなどし、町内外より84人が参加した。
高鍋町公式Instagramの運営	
高鍋城灯籠まつりの開催	
九州オルレ「宮崎・小丸川コース」フェアの開催	

④関係人口の創出

特定の地域との縁(関係)が移住先を決める大きな要因となることから、サテライトオフィスや逆通勤交代制、インターンシップなど「しごと」を通じた関係人口の創出。ボランティアや地域イベントへの参加、二地域居住など「地域」のファンをつくることにより、本町に多様な形で継続的にかかわる関係人口の創出を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
お試し滞在補助制度	・高鍋町への移住を検討する方が、仕事や居住場所などを探すための滞在費用の一部を負担した。お試し滞在補助制度実績 8件 (地域政策課)

⑤公共施設の機能強化

施設の長寿命化や利活用の促進、適正規模による供給と維持に努め、施設の量と配置の最適化を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
公共施設・町営住宅等の整備	・町営舞鶴団地外壁及び屋上防水等改修工事 (建設管理課) ・舞鶴公園老朽化施設改修工事 (建設管理課)

⑥高齢者、障がい者、外国人など誰もが元気に生きいきと暮らせるまちづくり

高齢者や障がい者、外国人などそれぞれが居場所と役割を持ち、健康で元気に地域生活を送れるための取組を進めます。また、個々の技術や経験が、地域の中でさらに生かされ、まちの主役のひとりとして活躍できる地域社会の実現を目指します。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
高齢者クラブ等補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブ連合会及び9単位高齢者クラブに補助金を交付し、活動を支援した。(健康保険課) ・障がい者の地域での良き理解者・支援者となり共に暮らしやすい地域づくりを目指す人材の育成。養成講座4回/年、養成者総数82人(福祉課) ・シルバー人材センターに補助金を交付し、センターの運営を支援した。登録者数73人(男性49人女性24人)(健康保険課) ・小学生が運動の大切さや楽しさ・すばらしさを学習し、子どもから大人に学習したことを伝え運動の実施を働きかける活動を実施した。働きかけを受けた人数454人、うち60歳以上43.2%、週1日以上運動実施率40.9%→56.9%(健康保険課)
たか鍋まごころサポーター養成事業	
シルバー人材センター補助事業	
キッズ健幸アンバサダー事業	

⑦安心・安全なまちづくり

日ごろからの防災への備えをはじめ、災害発生時の対応や犯罪被害の抑止など、町民の生活を脅かす様々な事象に柔軟に対応できるよう、地域力を生かした安心・安全なまちの確立を目指します。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
あんしん見守りネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん見守りネットワーク事業に関する連携協定を町内の104事業所と締結し、町民を地域社会全体で見守る体制を整備している。※5年度中の新規協定締結事業所7事業所(健康保険課) ・行方不明となる可能性のある高齢者等を事前に登録し、関係機関で情報共有することにより早期発見につなぐ体制を整備している。登録高齢者数52人(健康保険課) ・町民の生命と財産を守る高鍋町消防団の組織運営 ●火災発生時の消火活動 ●災害発生時の広報活動 ●火災予防運動期間における広報活動 ●公開機庫点検(以下 総務課) ・消防防災用備品整備、消防団拠点施設点検及び維持管理 消防車(ポンプ自動車)1台、消防用ホース15本、防火衣15着、防火帽30個、バッテリーチャージャー16台、組立式水槽1個、消防機庫等施設修繕10件 ・消費者トラブルの早期解決や被害の未然防止 ●弁護士無料法律相談実施 ●西都児湯消費生活相談センター活用 ●啓発品配布 ・防犯灯新設・修繕 69か所 ・自主防災組織を育成するため補助金を交付 2団体 ・屋外スピーカーの音が難聴世帯に対し無償貸与 79台
高齢者等発見ネットワーク事業	
消防団運営事業	
消防資機材等整備事業	
消費者行政推進事業	
防犯灯整備事業	
自主防災組織育成助成事業補助事業 防災行政無線受信機貸与事業	

⑧協働意識の醸成

「協働」の考え方、重要性を町内に広め、住民をはじめ団体、関係機関、行政がそれぞれの立場を尊重し、自己の役割を認識しながら協働のまちづくりを推進するという意識を高めていきます。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
地区担当制度 連協単位での担当者配置	・地区担当制度の職員への再周知(地域政策課) ・地区担当制とは別に、連協単位で社会教育課職員を配置し、実施する事業等に対応している。(社会教育課)

⑨高鍋駅舎の改修による地域活性化

町の玄関口として駅の魅力化の再構築や交通結節点としての機能を強化し、町内外からの誘客と駅から町内への誘客を図ります。また、駅周辺への滞留と滞在を通じた交流人口の増加による地域活性化を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績 (担当課)
高鍋駅舎改修事業	・改修工事(R6年度より実施)前の支障移転工事の実施(地域政策課) ・駐輪場及び駐車場の無料化(駐車場は最初の1時間)(建設管理課)

⑩地域交通の維持・確保

訪れる人にも使いやすく地域の暮らしに必要な不可欠な地域公共交通サービスについて、持続可能性を勘案しながらその維持・確保・改善等を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
デマンド交通の運行開始 広域的バス、広域的コミュニティバスの運行委託 地域間幹線系統バスへの支援	・10月から本格運行開始（平日9時から17時の間で運行。小型タクシー2台。）。利用者数延12,793人。（以下 地域政策課） ・広域的バスとして新富町・西都市を結ぶ2路線3系統の運行を委託 ・10月から広域的コミュニティバスとして川南町・都農町を結ぶ路線の運行を委託。 ・地域間幹線系統バスに運行支援として補助金を交付。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	⑮交流人口の増加が見込めるスポーツ大会、イベント等の開催件数					【地域政策課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
	※下段は達成率					
39件	15件	23件	38件	33件		45件
	33.33%	51.11%	84.44%	73.33%		C
要因・原因・ 対策等	開催件数は概ねコロナ禍以前の水準にまで戻った。本町の歴史や文化、特産品を活用したイベント等の開催により、本町の魅力を対外的に発信することで交流人口の拡大に努める。					
指標名	⑯自主防災組織（住民が自主的に防災活動を行う任意の組織）数					【総務課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
23団体	24団体	24団体	25団体	27団体		35団体
	68.57%	68.57%	71.43%	77.14%		C
要因・原因・ 対策等	コロナ禍に推進が停滞した。災害を受けにくい地区の組織化は進まない現状である。まずは、災害時浸水が想定される地区に組織化を要請していく。					
指標名	⑰防災士（平常時又は災害時の防災・減災を担う資格を有する者）数					【総務課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
152人	142人	152人	163人	173人		254人
	55.91%	59.84%	64.17%	68.11%		C
要因・原因・ 対策等	R5年度中に7人新たに防災士になった。転入出の方もいるため、全体で10人増。さらなる周知に努める。					
町による 一次評価	4段階評価：	3 地方創生に効果があった				
	人口減少・縮小する社会において、持続可能で多様な幸福を追い求めることができるまちづくりに取り組む中で、町民の移動手段の改善、防災に関する取り組みをはじめとする既存の施策を継続して取り組んだ結果、各指標は着実に目標に向け推移している。イベント等の再開により交流が活性化しており、観光専用サイト等を通じて情報発信を継続するなど交流人口の増加を図る取り組みを一層充実させる必要がある。					
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：	3.00 地方創生に効果があった				
	20歳代から40歳代の女性の社会増減はかなりいい数値が出ている。人口についても（令和5年度修正後の）目標値に近い数値であるので、目標達成に向けて更なる取り組みをしていただきたい。 地域によっては防災部自体がなく、防災士も不在の地区がある。新しく転入された若い方は地区に入ってくれない、高齢の方がかなり多いなど、防災についてどこから手を付けていいのか悩んでいる。そういう現状があることを理解していただきたい。 防災士という資格があることを知らない方も多いため、可能な限り乗降所を増やしてほしいとの地域の意見を耳にするため、ぜひ検討をお願いしたい。					

(2) 移住・定住の促進

[基本方向]

まちの魅力を創出し、それを実感してもらうだけでなく、「高鍋町に住みたい」、「高鍋町に住み続けたい」という思いを抱き、さらには、実際に住んでもらい、住み続けてもらうために必要な取組を進めます。

[具体的な施策]

①地域資源を生かした高鍋町のPR

観光スポットや食べ物などの地域資源を県内外に広くPRするなど、あらゆるコンテンツを動員しその魅力を積極的に発信し、インバウンドなど海外活力の取り込みを目指しながら高鍋町の知名度を上げます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町観光専用サイトの開設（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・高鍋町観光専用サイトを開設し、町内観光スポットや観光イベント、町内事業者等の紹介など、高鍋町の魅力を積極的に発信した。（地域政策課） ・高鍋町公式Instagramにおいて、高鍋町の観光名所やイベント情報の投稿をリポストするなど広く発信した。（地域政策課） ・令和3年7月、「持田古墳群・高鍋大師」が日本遺産のストーリー「古代人のモニュメントー台地に絵を描く 南国宮崎の古墳景観ー」の構成文化財に登録されたことから、町HPや観光パンフレットへの掲載、看板等を設置することによりPRした。（社会教育課・地域政策課） ・町内外で活躍する人物や観光資源など広報紙に掲載した（地域政策課） ・移住検討者に対して、商業施設や飲食店、公園等の町内での生活をイメージしやすいような情報発信を行った（地域政策課）
高鍋町公式Instagramの運営（再掲）	
持田古墳群、高鍋大師が日本遺産へ認定されたことを活用したPR	
広報たかなべの発行 移住・定住ポータルサイト「自分日和」の運営	

②移住のための情報の発信

移住・定住特設サイトの開設やインターネット動画を通じ、高鍋町の特色や魅力を遠方に居住し、移住を考えている方に広く伝えます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
移住・定住ポータルサイト「自分日和」の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・東京・大阪及び福岡での移住相談会にあわせたYouTube広告、移住者へのインタビュー、町の紹介記事など。令和4年度閲覧者数35,018人、閲覧回数35,783回、クリック等イベント数282,419回（地域政策課）

③移住希望者が高鍋町を実感できる取組の推進

お試し滞在制度など移住希望者が高鍋町での生活を体感することができ、移住につながる取組を推進します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
移住相談会時のVR機器活用	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会時にVR機器を用いて高鍋町の風景やサーフスポットの様子を実感してもらった。（以下 地域政策課） ・高鍋町内での居住場所などを探す目的で滞在される方に、宿泊費の一部を助成した。
お試し滞在補助制度（再掲）	

④移住希望者への総合的な支援

移住に関する相談窓口の一元化やニーズに対するきめ細やかな対応など、移住希望者に実際に移住してもらうために必要な総合的な支援を行います。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
移住定住サポーター制度	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者から移住希望者への相談対応などの協力により、移住前後のギャップ解消に努めている。（以下 地域政策課） ・高鍋町内での居住場所などを探す目的で滞在される方に、宿泊費の一部を助成した。 ・サイト内で移住等に関する支援制度や商業施設、実際に移住した方のインタビューなどを掲載した。
お試し滞在補助制度（再掲）	
移住・定住ポータルサイト「自分日和」の運営	

⑤空き家の活用

空き家バンクを開設し情報を移住希望者等に積極的に提供するなど、移住の促進につなげます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町空き家バンク事業	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクリフォーム等補助金交付 4件（以下 地域政策課） ・制度の周知（広報紙3回、回覧2回、固定資産税対象者への通知） ・空き家バンク登録8件、成約済8件

重要業績評価指標 (K P I)

指標名	⑱移住・定住特設サイトの閲覧数 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
平成30年度 現状値(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
—	※下段は達成率					
	3,145PV	14,406PV	43,681PV	79,464PV		100,000PV
	3.15%	14.41%	43.68%	79.46%		B
要因・原因・ 対策等	SNSを活用した情報発信や、YouTube広告の活用により大幅増となった。引き続き、県外者への周知方法を拡充する。					
指標名	⑲高鍋町を紹介するためのインターネット動画再生回数(令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6(目標値)
1,764回	1,107回	75,946回	193,049回	391,571回		230,000回
	0.48%	33.02%	83.93%	170.25%		B
要因・原因・ 対策等	YouTube広告の継続に加え、令和5年度中に新たなPR動画を作成したことにより、動画再生回数は大幅な増となった。本町への移住の切っ掛けとしてもらうため、取り組みを継続していく。					
指標名	⑳お試し滞在を行った世帯数 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6(目標値)
8世帯	4世帯	9世帯	13世帯	21世帯		45世帯
	8.89%	20.00%	28.89%	46.67%		C
要因・原因・ 対策等	宿泊費用を補助するお試し滞在補助制度となって2年目となり、利用実績も順調に伸びてきている。移住・定住サイト「自分日和」や移住相談会等で本制度について周知を図った結果が現れてきたと考える。					
指標名	㉑移住希望者(世帯)に対する空き家情報の提供数 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6(目標値)
—	0件	19件	26件	43件		50件
	0.00%	38.00%	52.00%	86.00%		B
要因・原因・ 対策等	全国版空き家バンクサイトに登録を行い、物件の情報提供を開始した。更なる空き家バンクへの物件登録を促進するため、空き家所有者に対するアンケートなど掘り起こし活動を進める。					
指標名	㉒相談等のあった移住希望世帯のうち、実際に移住した世帯数 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6(目標値)
2世帯	8世帯	12世帯	17世帯	29世帯		24世帯
	33.33%	50.00%	70.83%	120.83%		B
要因・原因・ 対策等	全国的な地方移住の機運が高かったほか、移住相談者へのきめ細やかな情報提供が奏功した。移住前後のギャップ解消を行うため、サポーター制度の利用を引き続き行い、移住体験談協力者の確保を目指す。					

町による 一次評価	4段階評価：	2 地方創生に相当程度効果があった
	<p>移住・定住特設サイト及び観光専用サイト等を活用し、より多くの方々に町の魅力を発信できており、高鍋町への移住は順調に推移している。一方で、人口については自然減（出生数）の影響が大きいため、定住支援策や子育て支援策の周辺自治体との差を緩和する施策を検討する必要がある。また、女性の社会増の要因を調べるとともに、空き家の掘り起こしやお試し滞在利用者との関係構築などに注力する必要がある。</p>	
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：	2. 20 地方創生に相当程度効果があった
	<p>インターネット再生数が伸びていることはよいと思う。町外・県外の方にもっと再生してもらえる取り組みをお願いしたい。 人口減少がシビアである。施策に優先度をつけて取り組んでいく必要がある。 ⑱～㉒の指標を目的化するのではなく、人口の減少を如何に止めるかが重要であると考える。</p>	
目標値の評価	A 目標達成。更なる地方創生に向け目標の再設定が必要	
	B 順調に推移。引き続き目標達成（または維持）を目指す	⑭⑱⑲⑳㉑㉒
	C 目標達成に向け更なる取り組みが必要	⑮⑯⑰⑳
	D 目標達成が困難など目標の再設定が必要	⑬
	E 現時点ではK P I の評価が困難	

【基本戦略（施策の柱）】

3 結婚への不安を解消し、安心して出産・子育てができるようにする【ひとの創生】

結婚を希望する人が経済的理由などで結婚に対する不安を抱く事のないよう支援します。また、出産・子育て・教育に関して切れ目のない支援が行われ、仕事との調和が図られる環境を構築します。

指標名	②出生数					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
146人	143人	144人	119人	99人		140人
	102.14%	102.86%	85.00%	70.71%		D
要因・原因・対策等	若者の結婚及び出産に関する意識が変化していることや育児に対する経済的不安などが要因と考えられる。					

（1）結婚・出産支援

【基本方向】

経済的理由などで結婚を躊躇している人の不安が解消されるよう、あわせて妊婦が身体面や精神面、経済面で安心して出産できるよう支援するとともに、不妊治療を受けている人が無事に妊娠・出産を迎えることができるための必要な支援を進めます。また、結婚・出産後も安心して働けるよう支援します。

【具体的な施策】

①女性が活躍できる地域の創出

それぞれの意思を基本としながら、女性が結婚・育児によって家庭に閉じこもることなく、社会の中で、その能力を生かし活躍できる地域を創造するための取組を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
男女共同参画の推進	・ 固定的な役割分担意識にとらわれず、誰もが自分らしく生きられる社会を実現するため、「お知らせかなべ」において、男女共同参画週間の周知、期間中（6月23日から29日）に啓発ポスターの掲示を行い、意識啓発に努めることができました。（総務課）

②若い世代の就業支援

ハローワークとの連携を図りながら、これから結婚を控える若い世代をターゲットに、求職情報の提供をはじめとした就業支援を行います。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
企業立地奨励制度を活用した新規雇用環境の整備	・ 立地企業による町内在住者の新規雇用を促進するため、企業立地奨励制度を活用し、雇用環境の整備に取り組んだ。（地域政策課）

③安心して妊娠・出産することができる取組の充実

出産に関する知識を習得する場として開催する母親（両親）学級や妊婦相談など、妊婦が安心して妊娠期を過ごし、出産に臨めるための取組の充実を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
妊婦健康支援事業	・ 高鍋町母子健康包括支援センター（オヤトコ）を設置し、母子健康手帳交付時の妊婦面談をはじめ、プレママサポート講座や母親（両親）学級、家庭訪問等を実施。助産師を中心に妊産婦の相談支援体制を強化した。（健康保険課）

④出産を経ても働き続けることができる体制づくり

妊娠・出産を理由にしごとが途切れることのないよう、事業所等と連携しながら雇用の継続を進めるとともに、再就職・転職を希望する方には、町独自の求人サイトを利用し求人・求職のマッチングを図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
該当事業無し	・ 高鍋町に特化した求人サイト「みちはた」の運営を行った（地域政策課）

⑤不妊治療に対する支援

不妊治療を行っている方の負担を軽減し、妊娠・出産につなげていくことができるための取組を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
不妊検査費助成金給付事業	・ 不妊検査費に要する費用を1件助成し、経済的負担の軽減を図った。（健康保険課）

重要業績評価指標（KPI）

指標名	求人サイトの新規求人掲載件数【再掲】 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
平成30年度 現状値(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
—	※下段は達成率					120件
	45件	84件	98件	118件		
	37.50%	70.00%	81.67%	98.33%		
要因・原因・ 対策等	地域おこし協力隊員不在の対応として、新たに会計年度任用職員を担当として採用した。事業所への掲載交渉を再開し、掲載件数は前年度よりも6件増となりやや復調の兆しがみられた。					
指標名	求人・求職のマッチング数【再掲】 (令和2～6年度までの累計)					【地域政策課】
H30(基準値)	R2	R3	R4	R5	R6	R6(目標値)
—	12件	28件	40件	48件		58件
	60.00%	140.00%	68.97%	82.76%		
要因・原因・ 対策等	コロナ禍の反動もあり企業の採用意欲が高まったことに加え、広告配信や応募者へのフォローが実を結んだと考えられる。また、HPが稼働して5年目となり、利用者への安心感に繋がっていることも要因の一つと考えられる。					
町による 一次評価	評価:	3 地方創生に効果があった				
	<p>妊婦との相談支援体制の強化など出産から子育てまでの支援を継続して実施し、また高鍋町結婚新生活支援事業を開始するなど、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりを進めている。しかしながら、出生数が100人を下回るなど、依然として少子化に歯止めがかからない状況であるため、今後もニーズ等の把握に努め、必要とされる施策に取り組む必要がある。</p> <p>また、働く場所の確保や産婦人科等各種病院の存在は結婚や出産における重要な要素であるため、求人サイトなど情報発信体制の強化を図り積極的にPRする必要がある。</p>					
委員会による 二次評価 (コメント)	評価:	3.00 地方創生に効果があった				
	<p>出生数がこんなに少ないとは思わなかった。</p> <p>夫が家事をする時間が長くなるほど、第2子以降の出生率が高まるので、男性育休推進やアンコンシャスバイアスの解消に取り組んでほしい。</p> <p>最近のキーワードとして「夫の家事に携わる時間」というものがある。休日に夫が全く家事に携わらない場合の第2子の出生率は30～40%であるのに対して、夫が家事に2～3時間でも携わると第2子出生率が70～80%に上がるというデータがある。県では男性の育児休業取得支援を行っているので、男性と女性の役割分担についての啓発も併せて行うことで効果が出てくるのではないかと期待したい。</p>					

(2) 子育て支援

[基本方向]

子育て中の世帯が抱える様々な不安や課題が解消され、明るく前向きに子育てに携わることができるよう、必要な支援を進めます。また、他の基本戦略との連携を図りながら妊娠・出産・子育て期から教育を受ける青年期に至るまで、子供やその保護者等に対して切れ目のない支援を行います。

[具体的な施策]

①子育て世帯の経済的負担軽減

子育て世帯の子育てに要する経済的負担の軽減を図り、安心して子育てができる環境を整えます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
子ども医療費助成事業 出産・子育て応援交付金事業	・ 高校卒業前までの児童を対象に保険診療分の自己負担額を助成した。助成額約10,189万円 助成件数42,315件（未就学児：16,722件、小学生：13,722件、中学生：6,827件、高校生：5,044件）（福祉課） ・ 妊婦及び子育て世帯を対象に、出産育児関連用品の購入助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援として、出産・子育て応援ギフトを支給した。出産応援ギフト145人、支給額725万円、子育て応援ギフト104世帯、支給額520万円（健康保険課）

②子育てに関する相談支援体制の充実

子育てに関する不安や悩みを解消し、前向きに子育てに向き合うことができるための相談支援体制の充実を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
子ども家庭支援センター事業 育児等健康支援事業	・ 18歳未満の子どもを養育する家庭の子どもとその保護者を対象に、家庭のあらゆる相談に応じ、関係機関と連携し必要な支援や見守りを行った。委託額約12,333千円 支援人数141人 延べ支援件数3,580件（福祉課） ・ 高鍋町母子健康包括支援センター（オヤトコ）を設置し、子育て支援センターとも連携し、相談事業を充実。赤ちゃん訪問、健康相談（6か月児相談、2歳児相談）を実施するとともに、産後ケア事業により、子育ての悩みや孤立感の軽減を図った。個別支援人数397人、延べ480人、電話相談143件、訪問227人、延べ277人（健康保険課）

③放課後児童クラブや保育園等の充実

安心して子どもを預けることができるよう放課後児童クラブや保育園等の充実を図ります。また、あわせてニーズに合わせた子ども預かり事業の充実を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
放課後児童健全育成事業	・ 就労により放課後等に保護者がいない家庭の児童を児童クラブで保育し、子育てと仕事の両立を支援した。延べ登録児童数3,083人（福祉課）

④多子世帯への支援

多子世帯を応援し、子どもを生み育てることのすばらしさを地域に浸透させます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
保育料の多子軽減	・ 多子世帯への負担軽減として、保育料を第2子は半額、第3子以降は無料にする。令和6年3月分の保育料の多子軽減対象世帯 107世帯（福祉課）

⑤障がい児を抱える世帯への支援

子育て世帯のうち、特に、障がい児を抱える世帯に対する支援を進め、障がい児の生活の質を高めるとともに、子育ての充実を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
障がい児保育委託	・ 保育所等が受け入れ態勢を整える障がい児の人数に応じて、必要な経費の一部を負担する。5施設 実人数10人 約403万円（福祉課）

重要業績評価指標（K P I）

指標名	②④地域子育て支援拠点事業の利用者数（年間延べ人数）						【福祉課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値	
6,486人	※下段は達成率					4,788人	
	1,745人	1,797人	1,527人	2,857人		D	
	36.45%	37.53%	31.89%	59.67%			
要因・原因・対策等	令和5年10月より「わかば」開設による増						
指標名	②⑤一時預かり事業（在園児対応型除く）の利用者数（年間延べ人数）						【福祉課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）	
300人	317人	227人	135人	199人		505人	
	62.77%	44.95%	26.73%	39.41%		D	
要因・原因・対策等	新型コロナウイルス感染症の影響緩和による増						
指標名	②⑥全世帯のうち、3人以上の子どもがいる世帯の割合						【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）	
3.29%	3.41%	3.39%	3.29%	3.19%		3.29%	
	103.65%	103.04%	100.00%	96.96%		B	
要因・原因・対策等	要因分析困難。宮崎県は全国でも出生率上位である						
町による 一次評価	4段階評価：		3 地方創生に効果があった				
	<p>子育て世帯への医療費助成や各種相談事業に加え、出産・子育て応援交付金事業など安心して出産・子育てができる環境づくりに取り組んでいるが、周辺自治体との施策の差などが要因となり、妊婦の他町への流出が懸念されている。</p> <p>子ども医療費助成事業は高校卒業前までの児童に拡充されたが、子育て世代への経済的支援など、より安心できる環境整備を行う必要がある。</p>						
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：		3.10 地方創生に効果があった				
	利用者数（量）と同時に利用者からのニーズ（質）の向上も大切だと思う。一時預かり事業はとても良いと思う。皆さんに利用してもらいたい。						
目標値の評価	A 目標達成。更なる地方創生に向け目標の再設定が必要						
	B 順調に推移。引き続き目標達成（または維持）を目指す						②⑥
	C 目標達成に向け更なる取り組みが必要						
	D 目標達成が困難など目標の再設定が必要						②③④⑤
	E 現時点ではK P Iの評価が困難						

【基本戦略（施策の柱）】

4 子どもの健やかな成長を支える【ひとの創生】

子どもはまちの宝であり、将来のまちを支える貴重な人財であることや、これからのまち・ひと・しごと創生は、今の子どもたちが主役であることから、子どもたちが生きいきと学び、遊べるための施策を推進することで、地域の中での子どもの健やかな成長を図ります。

指標名	⑲「高鍋町が好きだ」と回答した生徒の割合（特定の学年を対象）					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
76.24%	-	67.33%	68.57%	77.50%		90.0%
	-	74.81%	76.19%	86.11%		B
要因・原因・対策等	児湯学友団コンソーシアム協議会による高校生及び中学生の、地元教育資源を活用した交流学习事業が継続して実施されており、その効果が現れたものとする。					
指標名	⑳「将来、高鍋町のために何かをしたい」と回答した生徒の割合（特定の学年を対象）					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
46.53%	-	37.33%	47.14%	45.00%		90.0%
	-	41.48%	52.38%	50.00%		C
要因・原因・対策等	町外進学希望の中学生が多い状況であることから、地元への愛着心を持ってもらうために小学生の年代から住んでいる地域のすばらしさを知ってもらう取り組みが必要である。					
指標名	㉑「高鍋町の教育は充実している」と回答した生徒の保護者の割合（特定の学年の保護者を対象）					【地域政策課】
平成30年度	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度
現状値（基準値）	※下段は達成率					目標値
43.88%	-	58.43%	43.86%	41.67%		90.0%
	-	64.92%	48.73%	46.30%		C
要因・原因・対策等	タブレットの活用等、教育環境は確実に改善されていると思われるが、保護者が実感するまでには至っていない。生徒達自身の結果は66.67%（前年度48.57%）と改善の傾向にあることから、保護者へ対する周知・説明の取り組みが必要であるとする。					

（1）子どもの成長を支える体制づくりと施設等の充実

[基本方向]

子どもの健やかな成長を支えるための環境や体制を構築するとともに、将来、高鍋町のために活躍できる人財として育つための必要な取組を進めます。また、学校などで、子どもが元気に生きいきと学び遊ぶことができるよう、施設や設備の整備・改善を進めます。

[具体的な施策]

①人口減少社会の到来及び課題を認識できる教育の推進

学校教育を通じて、人口減少社会に突入している現実を認識し、課題解決のためにどうすればいいのかを個々で考えてもらうための取組を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
教育課程における学習	・学習指導要綱に基づいて、小中学校で授業を行っている（教育総務課） ※令和2年度に中学生用概要版を配布済。授業等で総合戦略を利用した回数 令和5年度 無し（地域政策課）

②学習機会の向上

学校臨時講師の配置や、経済的に不安を抱える世帯の児童・生徒が、学校外で学習する機会を得ることができるよう、学習機会の質及び量の向上を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
適応指導教室運営事業 非常勤講師配置事業 サポート&スタディ（社協塾）	・令和5年度利用実績40人（教育総務課） ・学校からの要望に応え、東西小中学校に合計7人配置 ・実施主体である社会福祉協議会へ補助金を交付（福祉課）

③スポーツ環境の充実

少年団やスポーツクラブ、中学校の部活動などで、それぞれの能力を最大限に発揮しながら、心身の健康の保持、技術の向上、精神的強さを培うことができる環境をつくりまします。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
中学校部活動 県外大会出場奨励事業 高鍋町スポーツ協会への支援 高鍋町スポーツ少年団への支援 キッズ健幸アンバサダー事業（再掲）	・旅費の補助など。部活動加入人数 東中202人（加入率59.1%） 西中138人（58.2%）（教育総務課） ・延交付者数 89人（社会教育課） ・補助金交付 17団体 計 379,000円（社会教育課） ・補助金交付 16団体 計 184,800円（社会教育課） ・オリンピックメダリスト等を講師に招き、東小4年・西小2年生149人に運動の大切さ・楽しさを伝える講座を開催。休み時間の運動遊び週1日未満20.4%→15.9%、帰宅後の運動遊び週1日未満26.7%→16.3%、休日の運動遊び未実施31.37%→15.7%。（健康保険課）

④児童・生徒の安心・安全の確保

児童・生徒が安心・安全に毎日の生活を送ることができるよう、学校への登下校をはじめ、様々な場面で地域が中心となって、見守り等を行います。また、各学校と連携しながら、防災教育を推進します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
防犯灯整備事業（再掲） 110番緊急通報装置システム設置事業 子ども安全見守り活動	・防犯灯新設・修繕 69か所（総務課） ・設置学校数 4校（教育総務課） ・広報紙への掲載 8回（教育総務課）

⑤地域で子どもの成長を支える体制づくり

自治公民館活動等において、子どもが主体的に活動等に参画できる機会の充実を働きかけ、その活動等を通じ、子どもの健やかな成長を促します。また、地域の中で学校運営に積極的に携わっていただける環境を構築します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町コミュニティ・スクール ガールスカウト活動の奨励 みどりの少年団活動の推進	・設置学校数 4校（教育総務課） ・補助金の交付、活動支援（社会教育課） ・農村体験、みどりの募金活動、活動の広報など（農業政策課）

⑥子どもの健康を守る取組の推進

子どもの健やかな成長のために、各種健診をはじめ、子どもの心身の健康を保持することができる取組を進めます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
乳幼児健診事業	・乳児健診（219人）、1歳6か月児健診（125人）、3歳児健診（157人）を実施。子どもの発育・発達状況を確認し、必要な支援及び保健指導を行った。（健康保険課）

⑦キャリア教育支援の推進

中学生や高校生がふるさとで暮らす・働くについて触れる場を提供し、地元の良さの再発見や課題を見出し理解を深めることで、自分の将来の生き方（キャリア）等について考える機会を創出し、将来の高鍋町を担う人材を育みます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋町キャリア教育支援センター設置運営業務	・小中高12年間を見通したキャリア教育の充実を図った。（教育総務課）

⑧学校施設等の充実

「快適な環境で学べる学校」を目標に、年次的な施設整備を進めます。また、設備や備品などについても、充実した教育の観点から改善を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
学校環境改善事業 町単独改修工事	東小学校第1棟防音機能復旧（空調・換気）工事、西中学校浄化槽改修工事（教育総務課）

⑨魅力ある高校づくりへの支援

地域に密着した魅力ある高校づくりを支援し、将来の高鍋町を担う人材を育みます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
高鍋高校魅力化補助金 高鍋農業高校魅力化補助金 児湯学友団コンソーシアム協議会負担金	・スタディサブリの導入支援（地域政策課） ・地元の農業資源の発見および商品開発・販売支援（農業政策課） ・中高生の人材育成を目的に合同イングリッシュキャンプや児湯5町中学生の合同学習会を開催（地域政策課）

⑩先人教育・郷土教育の充実

先人や郷土ならではの教育を充実させ、学校教育、生涯学習を通じてシビックプライドを醸成し、郷土に愛着をもった人材の育成を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
歴史シンポジウムの開催 「明倫堂の教え」普及啓発事業等（再掲）	・歴史シンポジウムの開催（H29～R1、R4）（以下 社会教育課） ・施策達成のソフト面の取り組みとして、藩校明倫堂の精神を今に活かす「明倫堂の教え」を作成し、全校配付及び町内中学校で学校教育への導入を図った。また、「たかなべ伝・伝Returns」発行や「八朔の誓い」の周知のためのカレンダーを作成した。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	⑩学校臨時講師の配置人数					【教育総務課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
	※下段は達成率					
7人	6人	7人	7人	8人		7人
	85.71%	100.00%	100.00%	114.29%		B
要因・原因・対策等	学校からの要望数に応えた結果、今後も継続したい。					
指標名	⑪経済的不安を抱える世帯への学外学習支援対象人数（令和2年度から令和6年度までの累計）					【福祉課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
76人	43人	72人	117人	158人		400人
	10.75%	18.00%	29.25%	39.50%		E
要因・原因・対策等	昨年度と比べ、利用者は横ばい。今後も事業の継続を行っていく。					
指標名	⑫充実・強化を図った少年団、スポーツクラブ数					【社会教育課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
25団体	24団体	25団体	24団体	21団体		26団体
	92.31%	96.15%	92.31%	80.77%		C
要因・原因・対策等	スポーツ少年団では、1団体が自主運営に移行、1団体が合併したため減少した。スポーツクラブでは、1種目が参加者減少により活動を取りやめたため減少した。今後も円滑に機能する組織体制や活動基盤の整備、連携体制の確立に取り組むことで充実・強化を図っていく。					
指標名	⑬児童・生徒の登下校時の見守りを実施している自治公民館数					【教育総務課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
33公民館	39公民館	39公民館	34公民館	30公民館		34公民館
	114.71%	114.71%	100.00%	88.24%		C
要因・原因・対策等	ボランティア希望人数の減少。ボランティアの高齢化により、活動継続を辞退されるケースが多い。ボランティアの発掘を進めたい。					
指標名	⑭乳幼児健診の受診率					【健康保険課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
99.02%	98.99%	99.50%	99.10%	99.80%		100.0%
	98.99%	99.50%	99.10%	99.80%		B
要因・原因・対策等	未受診者には個別勧奨を継続して実施した。					
町による 一次評価	4段階評価：		3 地方創生に効果があった			
	<p>各種施策の進捗状況は概ね順調であるものの、基本戦略評価指標の達成率は厳しいものがある。子どもの健やかな成長を支える体制づくりは概ね機能していると考えられるが、高齢化により見守りボランティアが減少するなど体制づくりへの影響がやや懸念される。</p> <p>子どもたちが生き生きと学び、将来、高鍋町のために活躍できる人材として育つための施策として、地元高校の魅力化支援をより一層推進し、地元への進学者数を増やすとともに、中学生よりも前の年代から、生まれ育った町が今後どうなっていくのかを自分事としてより感じる事ができる機会を設けるなど、高鍋町への興味・愛着を育てる施策を推進する必要がある。</p>					

	評価：	3.00 地方創生に効果があった	
	<p>⑳の「高鍋町が好きだ」と回答した生徒の割合77.5%は十分高い。目標値の90%が異常だと思う。基本戦略評価指数㉑㉒㉓については、目標は高い方が良いが、理想値と目標値の住み分けが必要ではないか。</p> <p>㉔「高鍋町の教育は充実している」と回答した生徒の保護者の割合については、「教育は充実しているか」と問うと、地域に学習塾があるか等、範囲が広がってしまうため、「公教育は充実しているか」と問うなど境界線を設けると良いのではないか。「公教育は充実しているか」とすると学校をイメージでき「学校は充実しているか」と受け止めることができる。そうすればもう少し数値はよくなるのではないかと思うので、アンケートの問いかけに一工夫をすると良いのではないか。</p> <p>アンケートの問いに対して理由を聞く欄を設けるとよいのでは。なぜ高鍋町が嫌いなのか等。そうすることで課題も見えてくるのではないか。</p> <p>自己効力感を計る問いとセットで尋ねてみると、そもそも自分に何かができると思っていないという子どもたちが多くいる背景が見えるかもしれない。親や子どもに関わる大人のポジティブフィードバックや、こうなりたいと思える身近なロールモデルと出会う機会（話を最後まで聞いてもらえたという体験等）により効果にも期待できるようになると思う。</p> <p>㉕経済的不安を抱える世帯への学外学習支援は、家が遠い子どもなどは参加したくてもできない場合があるのではないかと思う。</p>		
委員会による 二次評価 (コメント)			
	目標値の評価	A 目標達成。更なる地方創生に向け目標の再設定が必要	
		B 順調に推移。引き続き目標達成（または維持）を目指す	㉗㉘㉙
		C 目標達成に向け更なる取り組みが必要	㉚㉛㉜㉝
		D 目標達成が困難など目標の再設定が必要	
	E 現時点ではKPIの評価が困難	㉞	

【基本戦略（施策の柱）】

5 その他まち・ひと・しごと創生の力強い推進のための取組

まち・ひと・しごと創生の取組の多様性や地域社会のニーズ・環境に柔軟に対応しながら、これまでに掲げた基本戦略において進められるべき取組のほか、高鍋町におけるまち・ひと・しごと創生の力強い推進のために必要な取組を進めます。

[具体的な施策]

①各機関等との連携によるまち・ひと・しごと創生の推進

これまでに掲げた施策のほか、町内外の様々な機関等との連携により、高鍋町のまち・ひと・しごと創生が推進できないかを検討し連携を図ります。また、すでに連携協定を締結している機関等との連携強化を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
各機関との連携協定締結	<ul style="list-style-type: none"> 有機農業に関する講演会開催（農業政策課） 宮崎県宅地建物取引業協会との連携による空き家バンク事業の推進（地域政策課）

重要業績評価指標（K P I）

指標名	③⑤連携が可能か検討した対象機関等数 （令和2年度から令和6年度までの累計）					【地域政策課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
	※下段は達成率					
3機関等	9機関等	24機関等	29機関等	33機関等		10機関等
	90.00%	240.00%	290.00%	330.00%		B
要因・原因・ 対策等	SDGs やゼロカーボンシティの取り組みなど、自治体と企業等との連携が活発であった。					
指標名	③⑥連携を行った対象機関等数（令和2年度から令和6年度までの累計）					【地域政策課】
H30（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	R6（目標値）
3機関等	7機関等	22機関等	25機関等	30機関等		5機関等
	140.00%	440.00%	500.00%	600.00%		B
要因・原因・ 対策等	ゼロカーボンシティの実現や町内事業所のデジタル化の推進など、多様な施策の推進のためには企業等との連携は不可欠であった。					

②まち・ひと・しごと創生の重要性を継続的に訴えかけていく取組の推進

まち・ひと・しごと創生の長期的な取組が期待されていることを基本に、その重要性を町内に広く訴えていきます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
出前講座 教育課程における学習	高校生探究活動支援

重要業績評価指標（K P I）

指標名	③⑦まち・ひと・しごと創生の重要性について周知を図った回数 （令和2年度から令和6年度までの累計）					【地域政策課】
平成30年度 現状値（基準値）	R2	R3	R4	R5	R6	令和6年度 目標値
	※下段は達成率					
2回	1回	1回	3回	4回		10回
	10.00%	10.00%	30.00%	40.00%		C
要因・原因・ 対策等	高校生の探究活動への支援のみにとどまった。 総合戦略概要版の中学校での活用など周知機会を企画する必要がある。					

町による 一次評価	4段階評価：	2 地方創生に相当程度効果があった
	<p>様々な企業との連携により、SDGsやゼロカーボン等推進について取り組みを行っているが、まち・ひと・しごと創生の重要性の周知については低調である。</p> <p>まち・ひと・しごと創生の重要性については高校生が興味を持つ分野ともなってきたこともあり、今後も地域社会のニーズに則した魅力あるまちづくりを進めるとともに、高鍋町の未来について、子供達が自ら考えることができるように様々な機会に周知を図る必要がある。</p>	
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：	2.30 地方創生に相当程度効果があった
	<p>まち・ひと・しごと創生について考えらえる仕組みや仕掛けを共に考えていきたい。</p>	
目標値の評価	A 目標達成。更なる地方創生に向け目標の再設定が必要	
	B 順調に推移。引き続き目標達成（または維持）を目指す	③⑤③⑥
	C 目標達成に向け更なる取り組みが必要	③⑦
	D 目標達成が困難など目標の再設定が必要	
	E 現時点ではKPIの評価が困難	

【横断的目標】

新しい時代の流れを力にする

[具体的な施策]

① Society 5.0の推進

未来技術の活用事例（AI、ビッグデータ、IoT、自動運転、ロボット、ドローン、5G、エッジコンピューティング、EdTechなど）を取り入れ、地域課題の解決、地域の魅力向上を図ります。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
町公式LINEの機能拡張 デマンド交通の運行開始（再掲） 地域IoTプラットフォームを活用した事業	<ul style="list-style-type: none"> ・スマホ市役所導入【学校欠席連絡、ごみリマインダー、ごみ分別チャットボット、キャンプ場予約、通報】（総務課ほか） ・10月から本格運行開始（平日9時から17時の間で運行。小型タクシー2台。）。利用者数延12,793人。（以下 地域政策課） ・地域IoTプラットフォームを活用した防災IoT実装・Co2濃度計測実証実験

② SDGsの実現などの持続可能なまちづくり

持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取組を推進するにあたり、SDGsの理念に沿って進めることにより、地域課題解決の加速化と地方創生の取組の一層の充実・深化につなげます。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
第6次高鍋町総合計画後期基本計画の推進 スマートウェルネスシティの推進 高鍋町ゼロカーボンシティへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生SDGsオンライン個別相談会参加（地域政策課） ・高鍋町SDGsワーキンググループ会議の開催（開催数：2回 町民生活課） ・高鍋町SDGs未来都市全体計画の策定、提案（町民生活課） ・株式会社テレビ宮崎との食品ロス削減に向けた連携協定の締結（町民生活課・福祉課） ・健幸アンバサダーの養成（令和5年度70人）（健康保険課） ・たかなべ健康チャレンジの実施（令和5年度参加者209人）（健康保険課） ・キッズ健幸アンバサダー事業実施（令和5年度児童149人受講、454人が児童の働きかけを受けた）（健康保険課）（再掲） ・令和3年度高鍋町ゼロカーボンシティ宣言に基づく、株式会社エスプール、一般社団法人サーキュラーコットンファクトリーとのゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定の締結（町民生活課）

③ 高鍋Smart Project（スマートプロジェクト）の推進

少子高齢化・人口減少社会が進んでも町民が豊かな生活を送れるよう、国や県、全国の様々な自治体が取組を進めている新しい「まちづくり」の施策と連動し、ICTを活用した取組を包括的に行う「高鍋スマートプロジェクト」を推進します。

主な施策・事業	主な取組実績（担当課）
スマートシティの取り組み スマートウェルネスシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高鍋町デザインキャンプの開催（職員等29人参加、一般財団法人ローカルファースト財団主催）（地域政策課） ・SWC首長研究会に参加（5月：東京都、10月：兵庫県西脇市） ・先進事例等の情報収集及びウォーキング環境が整備された西脇市役所周辺や姫路駅前通りの視察（健康保険課）

町による 一次評価	4段階評価：	2 地方創生に相当程度効果があった
	<p>スマートシティやSDGs未来都市への提案事業について継続して取り組んでいる。AIデマンド交通の本格運行やLINEアプリを活用したスマホ市役所の導入及び、スマートウェルネスシティの取り組みなど、人口減少社会が進んでも、高齢になっても町民が地域で元気に豊かな生活を送れるよう有効な施策を推進していく。今後はDXの観点から業務の変革を進め、地域住民への周知も含めサービス向上に繋げる体制づくりを図る必要がある。</p>	
委員会による 二次評価 (コメント)	評価：	2.30 地方創生に相当程度効果があった
	<p>高鍋町の取り組みをニュースでよく見て、たくさんのことやっていると、結局何をしているのか分からない印象がある。情報の出し方の優先度等をもう少し整えたほうがよい。延岡市の「脱炭素」、都市部の「ふるさと納税」といった大きなキーワードが見えてこない。高鍋町の場合は「文教のまち」、「スマートシティ」、「ウェルネスシティ」等多すぎると感じる。すべて大事なことではあるが、魅力を作っていくにはもう少し上手に見え方、伝え方を整えることが重要ではないか。町民の方にも町外の方にもうまく伝えることで移住定住にも繋がっていくと思う。</p>	